

# 学校法人京都成安学園 令和3年度 事業計画

## ■ 建学の精神・ミッション、学園の目指すべき将来像

学校法人京都成安学園は、大正9年、創設者である瀬尾チカが成安裁縫学校設立を京都府知事から認可されたときに始まります。「本校ハ時代ノ進歩ニ伴ヒ最モ新シキ和洋裁縫及ビ実用的手芸ノ一般ヲ教授シ併セテ自活学習ノ便ヲ与ヘ兼ネテ婦徳涵養ニ資スルヲ以テ目的トス」と当時の校則に謳われているように、婦人が自活できる能力を身につけさせることが学校設立の目的であり、婦人の社会的・経済的地位を向上させようとする先進的な取り組みは、瀬尾チカの体験に裏付けられた確固たる信念に基づくものでありました。

京都成安学園の建学の精神は、成安裁縫学校を創設するに際して校名に使用し、以来今日までに設置した幼稚園から大学まで全ての学校の名前に使用した「成安」という言葉です。

### 1 京都成安学園 建学の精神 「成安」

京都成安学園 建学の精神、その由来は「成安」の名にこそある。

「成」とは、成し遂げること。「安」とは、安寧であること。つまり「成安」とは人の和を大切に、一人ひとりが自己の使命を追求し、全うし続けることを通じて、心安らぐ平和な社会をつくることに貢献するという意味である。

### 2 京都成安学園 校訓—学祖のことば 「誠と熱」

「誠と熱」とは、学祖・瀬尾チカが強い信念と行動力で人生を切り拓いた自らへの証であると同時に、真摯さを失わず、弱者への想いを抱き続けるという誓いの言葉である。

さらにこの言葉は、成安に集う者たちの心をひとつにする学園の訓でありながら、それぞれの人生の長きを、正しく強く生きぬく力を授けてくれる。そしてその力こそが、学園のみならず広く社会を豊かにするのだと。

### 3 京都成安学園の目指す将来像

京都成安学園は、建学の精神や学園設立の精神から導かれる「実学教育」「ものづくりの教育」を中心とした学校運営を行い、教育・研究・社会貢献のいずれの分野においてもトップレベルの質を維持し、名門と呼ばれるに相応しい学園を目指します。

# I 学校法人京都成安学園

## 【事業計画】

### 1 理事会の機能強化等

人口減少社会に入っている我が国にあって、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による教育を含む社会や経済の変容という新たな状況が生じ、厳しさを増す学校法人経営を取り巻く社会・経済の情勢に的確に対応しつつ、安定した学園運営を行っていくためには、学校法人の管理運営機能を一層充実させるとともに迅速な意思決定を図る体制を整備することが必要であり、そのためには学校法人の最高意思決定機関である理事会の機能強化を図ることが不可欠です。

こうした課題を踏まえて、学校法人の運営に関する権限と責任の所在を明確にすること、すなわち理事会の役割を明確にするとともに、学校法人としての意思決定がより機動的に行えるようにします。

### 2 公共性を高める自律的なガバナンスの確保

日本私立大学協会が取りまとめた「日本私立大学協会憲章 私立大学版ガバナンスコード」や私立学校法など法令に基づいて、学校法人のガバナンスの確保に係る取り組みを推進します。この項目は、令和2年度からの継続課題です。

### 3 コンプライアンスの徹底を促すための取り組みの強化

本法人のすべての構成員に対してコンプライアンスの徹底を求めるとともに、それを促進するための取り組みを強化します。この項目は、令和2年度からの継続課題です。

### 4 財務規律を確保するための取り組みの強化

本法人の財務状況には依然として厳しいものがあり、財務基盤は依然として脆弱性を克服できていません。その中で、学校法人と設置校を健全に経営するには中長期経営計画に基づく魅力ある学校づくりをとおして学生・園児の安定確保を図ることで経常収入の増加を図ることと合わせて、財務分析をとおして客観的に財務状況を把握するとともに、中長期経営計画や予算に基づく財政運営を徹底し、財務規律を確保するための取り組みを強化します。

### 5 新しい給与制度・人事評価制度の策定

本法人では、平成24、25年度に大幅な給与制度の見直しを行いました。それから8年以上が経過しました。その間、働き方改革をはじめとする労務諸施策が施行され、あるいは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための新たな働き方を含めた生活様式の変容が進んでいます。

また、平成24年度から導入した人事評価制度も、労働や教育を取り巻く環境が変化する中で、評価すべき内容やその方法も見直すべき時期に来ているものと考えます。

そのため、現行制度の見直しを行い、令和4年度から新たな給与制度と人事評価制度を導入することを目指します。

### 6 学校法人京都成安学園創立100周年記念事業の実施

令和4年3月31日までの間、学校法人京都成安学園創立100周年記念事業に充当するため、令和2年度に引き続き、学校法人京都成安学園創立100周年記念事業寄付金を募集します。

## 7 理事会の開催

- (1) 第 191 回 理事会 令和 3 年 5 月 29 日 (土)
- (2) 第 192 回 理事会 令和 3 年 7 月 30 日 (金)
- (3) 第 193 回 理事会 令和 3 年 10 月 29 日 (金)
- (4) 第 194 回 理事会 令和 3 年 12 月 4 日 (土)
- (5) 第 195 回 理事会 令和 3 年 12 月 4 日 (土)
- (6) 第 196 回 理事会 令和 3 年 12 月 17 日 (金)
- (7) 第 197 回 理事会 令和 4 年 2 月 4 日 (金)
- (8) 第 198 回 理事会 令和 4 年 3 月 4 日 (金)
- (9) 第 199 回 理事会 令和 4 年 3 月 26 日 (土)
- (10) 第 200 回 理事会 令和 4 年 3 月 26 日 (土)

## 8 評議員会の開催

- (1) 第 40 回 評議員会 令和 3 年 5 月 29 日 (土)
- (2) 第 41 回 評議員会 令和 3 年 12 月 4 日 (土)
- (3) 第 42 回 評議員会 令和 4 年 3 月 26 日 (土)

## 9 学園報の発行

令和 3 年 9 月、京都成安学園 学園報『SEIAN』VOL.9 を、「学校法人京都成安学園創立 100 周年記念特集号」として発行します。

## II 成安造形大学

近年、社会環境は大きく変化しています。人口の減少に伴い、生産年齢人口も急減しており、グローバル化や超スマート社会、SDGs など、これまでの工業化社会から知識基盤社会へと変わりつつあります。このような変化が激しい予測不可能な社会においては、主体的、能動的に生涯学び続けられる人材が必要とされており、高等教育に対して、そういった人材の育成への期待が高まっています。このような社会的な要請の高まりから、高等教育を取り巻く環境も激変しており、高等教育の無償化や高大接続改革など、国策が次々と打ち出されています。そのため、これまでの比較的閉鎖的で守られた環境から、内部質保証における第三者評価の受審や情報公開による説明責任など、より一層の透明性が求められる状況に加え、18歳人口の減少、入学者の多様化や国際化、ICT化、大学間競争など、これまで以上にスピード感のある改革が必要となっています。このような状況を踏まえ、本学では教育・研究の質的向上を最優先に、2019年度から2028年度までを期間とする中長期経営計画を策定し、以下のとおり経営戦略目標を設定しました。

### 【大学中長期経営計画 経営戦略目標】

#### 1 質保証システムの確立

学修者本位の教育実現の観点で、教学マネジメントを確立し、教育の質的転換と付加価値の向上を推進する。結果を重視し、教育成果を実証的に表現する。

#### 2 教育・研究の高度化、先鋭化と拡張

より高い創造的能力とより深い社会的視座を育成するための独自の取り組みを推進する。芸術分野と様々な社会テーマの交点を捉え、特色ある今日的芸術研究を推進し、教育に反映していく。

#### 3 「就職に強い芸術大学」の評価確立

就職を希望する学生が、高い確率で就職できるシステムを盤石にし、その社会的評価を確立する。

#### 4 グローバル化、多様化の推進と対応

大学進学18歳人口の減少を踏まえて、多様性を受け入れるシステムを構築し、多様なニーズに対応できる体制を整備する。

#### 5 卒業生との連携強化

卒業生との親密な交流を推進すると共に、相互的利益を図るネットワークを形成する。

#### 6 地域連携の深化

地方創生への貢献を具体化し、地域における存在感を向上する。全国区の芸大でありながら地域拠点でもあるハイブリッドな役割を果たし、独自のポジションを確立する。

#### 7 財務体質強化と体制整備

永続的な大学発展のために、財務体質の強化を図りつつ、大学運営の将来を担う組織体制を整備推進する。

同計画の3年目である当年度事業計画は、2015年度に受審した大学機関別認証評価の結果<sup>\*</sup>を踏まえてこれまで取り組んできた事業の点検・評価に基づき、中長期経営計画の到達目標の達成に向けた事業を中心に策定しました。なお、コロナ禍の影響で前年度より延期となった学園創立100周年記念事業の一部事業と、ウイズコロナの状況を想定し、学生や教職員の安全性を担保した上で、学

生の学修機会を確保するための事業を追加しています。※直近の認証評価では、改善を要する点及び参考意見はなかった

## 【A】中長期経営計画に関する事業

### 1 質保証システムの確立

- (1) 内部質保証の充実を図るため、日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審する。
- (2) 前年度に改訂したアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）で、入学者に求める6つの能力（学力・実践力・創造力・課題解決力・協働力・主体的行動力）を定めているが、現行の入試科目がその能力を適正に測定できているかの整合性を検証する。
- (3) 高大接続改革において、2022年度から実施される新たな高等学校学習指導要領と現行の本学教育課程の関連性を検証するため、高等学校や教育関連企業と連携し、その情報収集を図る。
- (4) ディプロマ・ポリシーに即した学修成果を可視化するため、卒業研究における学修計画を見直すとともに、その成果発表の在り方を検討する。
- (5) ディプロマ・ポリシーと各科目との相関を検証し、シラバスの改訂やカリキュラムマップの策定、アセスメント・ポリシーの見直し等を検討する。
- (6) プロジェクト科目における学修成果の可視化を図るため、科目受講者に課している報告書について、様式の統一を検討する。
- (7) 経費や人的負担が増えている卒業制作展について、その開催の効果を検証し、最適な実施方法を検討する。
- (8) 他の芸術大学と連携し、情報共有を図りながら、芸術分野における効果的なIR活動を検討する。
- (9) 教職課程における自己点検・評価等の内部質保証体制を検討する。
- (10) 様々な理由により、4年間で卒業できない学生に対して、学修機会を担保するため、5年目以降の学費減免などの経済的な支援策を検討する。
- (11) 質保証に資する新たな教務システムや学修成果可視化システムなどの導入準備を図り、学修支援体制のデジタル化を推進する。
- (12) 学修環境の充実を図るため、新入生全員（3年次編入生・研究生は除く）を対象に今年度から開始するノートパソコン（MacBook Air）の無償貸与制度について、円滑な運用を図るとともに、その発展的な活用方法を検討する。

### 2 教育・研究の高度化、先鋭化と拡張

- (1) クリエイティブサポートの充実を図るため、以下の設備・備品等を整備する。
  - ① 附属図書館の視聴覚資料閲覧コーナーのモニター及びメディアプレイヤーの更新
  - ② 情報メディアセンターのデジタルフルカラープリンターの更新
  - ③ 鉄工ラボの溶接機の更新
  - ④ セキュリティ対策ソフトの更新
- (2) 3つのラボ（造形・鉄工・版画）と学生や教職員のニーズが高まっているデジタル工作施設のファブリケーション commons の運営体制を検証し、その体制の強化策を検討する。
- (3) 未来社会デザイン共創機構の運営を開始するとともに、以下の事業を推進する。

- ①大学ウェブサイトで専用ページを構築
- ②SEIAN ドリームプロジェクト（学生特別研究助成金）の開始
- ③招聘教育職員の発展的運用の検討
- (4) イラストレーション分野のブランド化を推進するため、同分野におけるこれまで取り組んできた事業などのアーカイブ化を検討するとともに、キャンパスが美術館での企画の開催など、活用方法についても検討する。
- (5) 附属近江学研究所における研究体制の充実を図るため、新たな専門分野の研究者を客員研究員として迎えることを検討する。

### 3 「就職に強い芸術大学」の評価確立

- (1) 対就職希望者就職率 90%以上を目標に、教職協働による全学的なキャリアサポート体制を強化するため、年間を通して領域のキャリアサポート担当教員との連携を図りつつ、ゼミ担当教員とも年 2 回の情報共有ミーティングを実施し、キャリアサポートの更なる充実を図る。
- (2) 企業の採用スケジュールの早期化に対応するために、これまで実施してきたサポート講座に加え就活の知識とスキルを身に付ける事を目的に、1 年次から参加可能な「就職セミナー（仮称）」を、年間を通じて実施する。
- (3) 就職に対する意識を早期に高めるため、1 年次からインターンシップに参加できるように、滋賀県中小企業家同友会など関係団体と連携を図るなど、受入れ先企業の開拓を行う。
- (4) 就職斡旋の強化を図るため、滋賀県中小企業団体中央会との連携を図り、滋賀県の地場産業やモノづくり企業の合同企業説明会を開催する。

### 4 グローバル化、多様化の推進と対応

- (1) 外国人留学生が増加していることを踏まえ、外国人留学生の支援状況等を検証の上、留学生支援センターの在り方を検討する。
- (2) 外国人留学生の日本での就職活動を支援するため、日本で就職を希望する外国人留学生を調査した上で、日本で就職活動するために必要な知識とスキルを身につけるための外国人留学生向け就活サポート講座を全学年対象に実施するとともに、外国人留学生を支援する学外団体との連携を図る。
- (3) 外国人留学生における日本語レベルの格差の拡大などを鑑み、日本語科目やスタートプログラム科目、キャリアデザイン科目を検証するとともに、正課外で日本語能力試験の合格を目指す講座の設置を検討する。
- (4) 東南アジア圏からの外国人留学生の獲得にむけて、日本語学校等の関係機関との協議を進める。
- (5) 国庫補助金の動向を踏まえつつ、施設・設備改修計画に基づき、トイレの洋式化や段差解消など実施可能な施設のバリアフリー化を推進する。
- (6) 学生相談室や保健室、フリールームなどの支援施設の再整備を企画する。
- (7) 障害のある学生へのキャリア支援を強化するため、外部の障害者支援団体と連携を図りつつ、必要な支援策を検討する。
- (8) 本学に対する若年層の認知度向上を図るため、中学生を対象とする大規模なワークショップイベントを開催する。

## 5 卒業生との連携強化

- (1) これまでの同窓会や卒業生との連携事業を検証し、新たな連携強化策を同窓会と協議する。
- (2) 新しい基幹（学事）システムにおける卒業生管理システム（仮称）の導入準備を図る。
- (3) 外国人留学生における卒業後のネットワーク構築を図るため、他大学の状況を調査し、ネットワーク構築に資するツール等を検討する。

## 6 地域連携の深化

- (1) 地元の企業を中心に企業訪問を強化するとともに、その訪問先や滋賀県中小企業団体中央会所属の企業を招き、企業と本学との交流を推進する機会として、本学の教育研究内容や学生の学修成果などをプレゼンテーションする成安プレゼンツ（仮称）を開催する。
- (2) キャンパスが美術館の運営の更なる充実を目的に、学外有識者におけるサポート体制を検討する。
- (3) 美術作品等所蔵品の管理体制の整備を図るとともに、その活用方法について検討する。
- (4) カフェテリア「結」の今後の在り方について、地方公共団体や地域との連携も含め、検討する。
- (5) 滋賀県立近代美術館の再開館展「滋賀近美アートのスポットプロジェクト」の関連企画で、これまでの附属近江学研究所で取り組んだ滋賀の文化歴史マップの展示と地域実践領域の学生による調査研究報告を発表する。

## 7 財務体質強化と体制整備

- (1) 2012年より開始した姉妹校・パートナーシップ協定校とのこれまでの連携事業を検証し、同制度の今後の在り方について、検討する。
- (2) 空調設備更新やバリアフリー化等の施設・設備投資に対する外部資金（補助金）の獲得に向け、調査・研究を行い、獲得可能な事業について、申請を行う。
- (3) これまでの給付奨学生・特待生制度を検証した上で、アドミッション・ポリシーに即した入学生を安定して確保するための新たな入試制度を検討する。
- (4) 教育職員における自己点検・評価制度の在り方を検証し、同制度の再設計を検討する。
- (5) 教育研究に対する寄付金などを効果的に獲得するための手法を調査するとともに、専門部署もしくは専門担当者の配置を検討する。
- (6) 奨学金制度について、高等教育就学支援新制度の開始等により、本学独自の制度も含めると制度が複雑化しているため、同制度の一部アウトソーシング化を検討し、事務業務の効率化を図る。
- (7) 今後の領域における中期的な展望を踏まえ、コース編成及び人員計画等の基本方針を策定する。
- (8) 学園創立100周年記念事業におけるクリエイティブキャンパス計画の新棟建設が凍結となったことにより、懸案事項となった中規模（定員100名～140名規模）講義室、キャンパスが

美術館の備品及び収蔵作品の収納スペース、学園歴史資料室、学生会室などの施設整備計画を策定する。

## 【B】新型コロナウイルス感染症対策に関する事業

- (1) コロナ禍における円滑な授業運営  
新型コロナウイルス感染症の完全な収束が見込まれない中で、学生及び教職員の安全を最優先としつつ、学生の学修機会を担保するために、遠隔授業と対面授業を併用しつつ、質保証に資する円滑な授業運営を図る。
- (2) 学修支援環境の整備  
遠隔授業への対応を目的として、新入生全員と在学生の希望者に対し、ノートパソコンの無償貸与制度を開始し、その円滑な運用を図る。
- (3) 衛生管理の徹底と強化  
共有部の定期的な消毒作業などの衛生管理を徹底するとともに、換気扇の更新やウイルスの飛沫防止用アクリルパネルの設置など、衛生管理上、必要な設備備品を整備する。
- (4) 今後の授業形態の在り方についての検討  
「ウイズコロナ」を想定し、教室の定員数と受講人数の関係、学修成果など多面的な検証を行った上で、令和4年度以降の授業形態の在り方について検討する。

## 【C】学園創立100周年記念事業（前年度からの継続事業）

### 1 クリエイティブキャンパス計画の推進

創造性豊かな人材（クリエイティブ人材）を育成するのに相応しい創造的で刺激に満ち溢れ、社会に開かれた開放的なキャンパスとなるよう、以下の計画を推進する。

- (1) 作品設置  
在学生や卒業生、教職員からの多数の応募作品の中から、採用となった作品を複数点設置するとともに、コミッションワークによる作品も併せて設置する。  
○設置時期：令和3年8月～令和4年3月(予定) ○設置場所：成安造形大学キャンパス内各所
- (2) エントランスの再整備  
スクールバスの往来をスムーズにするため、車両の出入口を分岐した上で乗降場所の位置を変更し、安全面を確保するとともに、開放的で魅力的なエントランスに再整備する。  
○着工時期：令和3年8月(予定) ○竣工時期：令和4年3月(予定)

### 2 記念展覧会等の開催

キャンパス内を回遊して観覧するキャンパスが美術館において、学園創立100周年を記念して、卒業生や学園関係者などによる記念展覧会を夏と秋の2期で開催する。また、関連企画として、学園教職員のOBOG会である聚英会の企画展を開催する。

- 2021夏の芸術月間 セイアンアーツアテンション13「fringe and fringe（仮題）」（7月13日～8月6日）
- 2021秋の芸術月間 セイアンアーツアテンション14「Re:HOME（仮題）」（10月19日～11月13日）



○聚英会企画展（9月21日～10月3日）

## 【D】経常的な事業

### 1 教学関連

- 4月 入学式（1日）、新入生が`イ`ンス（2日～9日）、前期授業開始（12日）
- 5月 教職課程教育実習
- 7月 前期授業終了（31日）
- 8月 前期保留該当者試験（31日）、学芸員課程博物館実習  
集中講義期間（17日～20日、23日～27日、30日～9月3日）
- 9月 集中講義期間（6日～10日）、在学生が`イ`ンス（9日～14日）、大学祭（19日・20日）、  
前期卒業証書・学位記授与式（17日）、後期授業開始（27日）
- 1月 後期授業終了（24日）、卒業制作展（24日～30日）
- 2月 後期保留該当者試験（17日）
- 2月 後期集中講義期間（1日～4日、7日～10日、14日～18日）、教員免許状一括申請
- 3月 卒業証書・学位記授与式（11日）、在学生が`イ`ンス（22日～25日）

### 2 キャリアサポート関連

(1) キャリアデザイン科目

- ①前期：キャリアデザイン概論1、就業力育成演習A・C、就業力育成論1・3、インターンシップA・B
- ②後期：キャリアデザイン概論2、就業力育成演習B・D、就業力育成論2・4、ポートフォリオ演習

(2) 主な就活イベント

マッチング会（7月～10月）、合同企業研究会（1月）、会社説明会（通期）、就活サポート講座（通期）

### 3 入学者選抜試験

予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要とされ、国策として、高大接続改革が推進されている状況を踏まえ、3つのポリシーに沿った上で、学力の3要素を確実に評価する入学者選抜試験を、以下のとおり実施する。

○総合選抜型入試

1期 特待生面接方式 : 9月5日（日） / 体験授業方式 : 9月6日（月）

2期 体験授業方式 : 10月2日（土）

3期 面接方式 : 11月7日（日）

4期 特待生実技方式 : 11月20日（土）

5期 面接方式 : 12月4日（土）

○学校推薦型選抜入試 : 11月7日（日）

○一般選抜入試

- 1期 面接方式 : 2月5日(土) / 実技方式 : 2月6日(日)  
 1期 大学共通テスト利用方式 ※独自試験はなし。大学共通テストの実施日は、1月15日(土)・16日(日)  
 1期 特待生所得制限型面接方式 : 2月5日(土) / 実技方式 : 2月6日(日)  
 2期 面接方式・実技方式 : 2月23日(水)  
 2期 大学共通テスト利用方式 ※独自試験はなし。大学共通テストの実施日は、1月15日(土)・16日(日)  
 3期 大学共通テスト利用方式 ※独自試験はなし。大学共通テストの実施日は、1月15日(土)・16日(日)

○特別選抜入試

前期 : 10月3日(日) / 後期 : 12月4日(土)

○3年次編入試

前期 : 12月4日(土) / 後期 : 2月5日(土)

#### 4 募集対策関連

(1) オープンキャンパス

- ① 4月18日(日) ② 6月6日(日) ③ 7月25日(日)  
 ④ 8月29日(日) ⑤ 10月10日(日)

(2) ミニオープンキャンパス(仮称) : 3月20日(日)

(3) SEIAN WATCHING(大学見学会)

- ① 5月16日(日) ② 7月11日(日) ③ 8月1日(日)  
 ④ 8月22日(日) ⑤ 9月19日(日)・20日(月祝)  
 ⑥ 11月14日(日) ⑦ 12月12日(日) ⑧ 2月13日(日)

(4) その他の募集対策事業

- ①卒展 WATCHING(卒業制作展見学会) ※日程は未定。  
 ②成安デッサン模試 : 3月6日(日)  
 ③オンライン説明会 : 随時開催  
 ④オンライン個別相談会 : 随時開催

#### 5 研究・地域連携関連

(1) 附属近江学研究所

令和3年度の公開講座ならびに会員限定講座は、受講者が自宅で安全に受講できるオンデマンド方式を導入し、外出が困難な状況であっても近江学を学ぶ機会を提供する。また、オンデマンドで受講ができない受講者を対象として、大学で講座の映像を視聴できるようにする。

①公開講座

講座種別	講座名	講師 ※敬称略	上映会 動画配信期間
連続講座(1)	ア 近江一暮らしのかたち 「自然と共生する持続可能社会の姿」	内藤 正明	<u>5月8日(土)</u> ~5月16日(日)
連続講座(2)	イ 近江一受け継ぐかたち 「水と人の暮らしに迫る」	膽吹 邦一 高橋 順之	<u>7月10日(土)</u> ~7月18日(日)

②写生会 : 5月29日(土)・10月23日(土)

### ③会員限定講座

特集テーマ	講座名	講師 ※敬称略	上映会 動画配信期間
【川とはぐくむ】	A 「川とはぐくむ 琵琶湖 —源流・支流・本流—」	金 再奎 加藤 賢治 石川 亮	<u>6月12日(土)</u> ～6月20日(日)
	B 「アメノウラと秋の夕暮れ」	藤岡 康弘	<u>9月11日(土)</u> ～9月19日(日)
	C 「安曇川をめぐる文化財 —その立地と成り立ち—」	山本 晃子 清水 安治	<u>10月9日(土)</u> ～10月17日(日)
	D 「川の記憶、川の記録 —和邇川流域の暮らしと歴史文化—」	高橋 大樹	<u>11月13日(土)</u> ～11月21日(日)
	E 「川と観音さま —民衆とともにある観音—」	佐々木悦也	<u>12月11日(土)</u> ～12月19日(日)

④現地研修・・・10～11月予定

⑤文化誌「近江学」第13号発刊

(2) 受託連携事業 (2月20日現在)

①前期プロジェクト (4月～9月)

・おもちゃのワークショップ (大津市歴史博物館)

②通期プロジェクト (4月～3月)

・イベントPRデザイン (滋賀県国民健康保険団体連合会ほか)

・光のアートプロジェクト (琵琶湖汽船) ・谷本勇作品デジタルデータ化 (大津市)

(3) 研究費事業

①特別研究助成

○募集期間：4月1日(木)～5月15日(土)日：6月中旬・採択数：1～3件程度

②科学研究費

○採択済：「里山における自然資本の意識化とネットワークのための地域参加研究」

(平成30年～令和2年 補助事業期間の延長予定)

：アートによる地域再生の実践的検証 ～障害者アートと地域アートの未来像を探る試み～

(令和2年～令和4年)

○申請中：3件

(4) 教員免許状更新講習

8月3日(火)から6日(金)の4日間で、「写真・教育現場での活用と表現指導」「綿棒を使った立体造形」など、6講習(延べ定員145名)を実施する。

(5) キャンパスが美術館の主な企画展 ※学園創立100周年記念展覧会は別掲。

①SELECTION 2021：4月1日(木)～25日(日)

②景風趣情：6月4日(金)～19日(土)

③JAGDA 2021展：9月7日(火)～25日(土)

## 6 質保証関連

- 4月 PROGテスト（新入生対象）、令和2年度対象自己点検・評価（～6月）
- 5月 PROG解説会
- 6月 第1回FD研修会（予定）
- 7月 前期授業評価アンケート
- 10月 第2回FD研修会（予定）
- 3月 学修成果アンケート（卒業生対象）、後期授業評価アンケート、学生実態・満足度調査

### Ⅲ 成安幼稚園

#### 【基本理念・教育の目的・教育目標】

##### 1 成安幼稚園の基本理念

豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる。

本園は、「子どもの生活は遊びながら…」が保育の基本であると考えています。偏った英才教育では、心は見失われてしまいます。

本園は、長い伝統を誇る京都成安学園の建学の精神「成安」、校訓「誠と熱」の信念を柱とし、遊びを中心とした総合的保育で、創造力の豊かな心と健やかな体を育てます。

本園は、現代社会に失われつつあるものを育てることが大切であると考えています。

##### 2 成安幼稚園の教育の目的

- (1) 健康・安全で幸福な生活のために必要な基本的生活習慣を養うとともに、身体諸機能の調和と発達を図る。
- (2) 集団生活を経験し、協調性、自立及び自律の精神の芽生えを養う。
- (3) 社会の様々なものごとに対し、正しい理解と態度の芽生えを養う。
- (4) 人との関わりの中で、意思伝達能力を養い、信頼関係を築く。
- (5) 経験をとおして感性を育て、創造力を豊かにし表現する力を養う。

##### 3 成安幼稚園の教育目標

一人ひとりの子どもを大切に、基本理念に基づいた保育を行い、心豊かな子どもに育てます。

#### 【事業計画】

令和元年10月より「幼児教育・保育の無償化」がスタートしました。限りある国の予算が子育て世帯に充てられていることにより、社会から大きな注目を集めています。この制度は子育て世帯の経済負担を軽減し、少子化の進行を抑制するとともに今以上に多様化していく社会の中で、子どもたち一人ひとりが自分らしく活躍できる大人に育ててほしいという願いが込められています。

これからの未来は、AIやIoTの進歩によって大きく変革していきます。こうした多様化していく社会の中では、ロボットにはない探究力や想像力、情操や道徳といった人間ならではの力がより一層求められます。そして、この力の土台を育てているのが幼児教育です。

平成30年に文部科学省が示した幼稚園教育要領の新しい指針には、「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」として、目に見えない力（非認知能力）を育てる事の重要性を表しています。基本理念「豊かな創造力と健やかな体、たくましい自立心を育てる」に基づき、教育内容の充実と教育職員の教育力向上に努めていきたいと思っております。

## 【幼稚園 中長期経営計画】

- 1 社会に対する基本姿勢
- 2 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報発信
- 3 保育教育の質の向上
- 4 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画
- 5 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立
- 6 安全で快適な保育環境の整備
- 7 学園創立 100 周年・幼稚園開園 90 周年記念事業の推進
- 8 コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立

## 【事業計画案】

### 1 社会に対する基本姿勢【中長期経営計画】

保護者の社会活動への参加をサポートするため、預かり保育を継続して実施する。

### 2 保護者や地域社会からの信頼と協力を得るための正確な情報発信【中長期経営計画】

本園の活動状況に関する情報を正確かつタイムリーにホームページ等をとおして発信することで、保護者をはじめ広く社会に対して本園についての理解を促す。

### 3 保育教育の質の向上【中長期経営計画】

#### (1) 併設校である成安造形大学との連携による特色ある教育活動の展開

教育職員の感性を養うための研修の実施、園児に対する絵画指導に関する方法論の指導助言等について、大学の協力を得る体制を構築する。また、新園舎建築に伴い造形大学併設校ならではの造形物や掲示物を大学との連携で作成することにより、他園との差別化を図る。

#### (2) 教育内容の充実

- ・「考える力」「創造する力や興味」を育てるために教員の研修会の充実を図る。
- ・令和 2 年度から新たに登用した「教務主任」による教育職員の指導を徹底させ、均一な教育ができるよう、また、文部科学省の指針に沿うよう、教育の質を向上させる。

### 4 人材マネジメントの推進と教育職員配置計画【中長期経営計画】

#### (1) 教頭・教務主任による人材育成の強化

新規採用教育職員をはじめ経験の浅い教育職員の指導育成を徹底することにより保育の向上を目指すとともに、中堅の教育職員を幼稚園運営の強い戦力とするべく全体的な底上げを目指す。

### 5 園児獲得目標の明確化と健全な財務規律の確立【中長期経営計画】

#### (1) 入園者の確保に関する取り組み

J R 桂川駅・阪急京都線洛西口駅の看板広告の効果を見直し、阪急京都線洛西口駅のみ継続して掲示する。これに加えてイオンシネマにて幼稚園の広報 P R 活動を行うことなどにより、園児総数 225 名を目指す。

- ・地域の未入園児保護者を対象に多目的室を開放し園児獲得に向けて活動を行う。(プレ保育月 2 回実施予定 登録制)

園庭の整地終了後の 6 月から園庭も開放し、造形遊びや製作遊びを行い本園の保育をアピールし入園者獲得を目指す。

- ・夏休み・冬休み前の子ども向け映画の公開に合わせたスクリーンへのメッセージ掲示
- ・募集活動として未入園児へ公開イベントの実施：令和 3 年 7 月 9 日（月）ドクターイエロ

一に乗ろう

- ・令和4年度園児募集 入園説明会：令和3年9月8日（水）・11日（土）の2回開催予定
- (2) 消費税値上げに伴う保育料の改定を令和元年度は見送ったため、令和3年度に向けてその準備に入る。社会状況、近隣の園の動向を見ながら実施する。
- (3) 今後に向けて満3歳児保育について検討する。

#### 6 安全で快適な保育環境の整備【中長期経営計画】

- (1) 学園創立100周年・幼稚園創立90周年記念事業として園舎建築工事を実施。  
平成27年に耐震工事を実施した第1保育棟及び現管理棟の老朽に伴い、長期計画を立て修繕する。

#### 7 学園創立100周年・幼稚園開園90周年記念事業の推進【中長期経営計画】

- (1) 学校法人京都成安学園創立100周年・成安幼稚園開園90周年記念事業  
・第2保育棟を解体撤去し、グラウンドを整地する。
- (2) 工事中の園児の安全の確保と快適な環境の整備に努める。

#### 8 コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立【中長期経営計画】

園長をはじめとする職制が一丸となり、コンプライアンスの徹底とガバナンスの強化に取り組む。

### 【経常的な事業】

令和3年4月12日（月） 始業式  
令和3年4月13日（火） 入園式  
令和4年3月17日（木） 卒園式  
令和4年3月18日（金） 修了式

【令和3年3月27日 第190回理事会 決議】